



2019年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年5月15日

上場会社名 中外鉱業株式会社
 コード番号 1491 URL <http://www.chugaikogyo.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 芳賀 一利
 問合せ先責任者 (役職名) IR センター室長 (氏名) 桜庭 勲 TEL 03-3201-1541
 定時株主総会開催予定日 2019年6月27日 有価証券報告書提出予定日 2019年6月28日
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期の連結業績(2018年4月1日～2019年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	26,457	△49.2	593	—	532	—	123	—
2018年3月期	52,109	△16.6	△185	—	△262	—	△9	—

(注) 包括利益 2019年3月期 520百万円 (—%) 2018年3月期 △280百万円 (—%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2019年3月期	0.43	—	1.9	7.1	2.2
2018年3月期	△0.03	—	△0.2	△3.5	△0.4

(参考) 持分法投資損益 2019年3月期 ー百万円 2018年3月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期	7,795	6,699	85.8	23.10
2018年3月期	7,320	6,305	89.7	22.67

(参考) 自己資本 2019年3月期 6,689百万円 2018年3月期 6,566百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年3月期	293	△167	△121	1,593
2018年3月期	226	△27	27	1,589

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2018年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2019年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	14,400	0.6	140	—	130	—	20	—	0.07
通期	29,400	11.1	350	△41.0	310	△41.7	100	△18.7	0.35

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期	289,747,982 株	2018年3月期	289,747,982 株
② 期末自己株式数	2019年3月期	98,582 株	2018年3月期	97,762 株
③ 期中平均株式数	2019年3月期	289,649,943 株	2018年3月期	289,650,900 株

(参考)個別業績の概要

2019年3月期の個別業績(2018年4月1日～2019年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	24,382	△52.6	△251	—	△275	—	△284	—
2018年3月期	51,431	△16.0	403	—	371	—	355	—

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期	△0.98	—
2018年3月期	1.23	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期	7,172	6,161	85.9	21.27
2018年3月期	7,291	6,446	88.4	22.26

(参考) 自己資本 2019年3月期 6,161百万円 2018年3月期 6,446百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

(日付の表示方法の変更)

「2019年3月期 決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、個人消費の持ち直しや雇用・所得環境の改善、堅調な企業業績を背景に、景気は回復基調が続いているものの、米中貿易摩擦の長期化や海外経済の不確実性等、先行き不透明な状況が続いております。

このような経済状況のもと、当社グループ(当社及び連結子会社)は、貴金属市況において金価格は、年度前半は米国経済が好調であったことや米国利上げを背景に下落基調で推移したものの、その後は、米中貿易摩擦の激化や安全資産としての金需要の高まり等を背景に上昇基調で推移いたしました。不動産市況においては、住宅ローン減税等の経済政策や低金利の継続により住宅需要は底堅く、都心部のオフィス空室率は低水準で推移する等、堅調に推移いたしました。機械市況においては、米中貿易摩擦による中国市場の景気減退を背景に年度後半は低調に推移したものの、好調な企業業績を背景とする旺盛な設備投資需要を受けて総じて堅調に推移いたしました。コンテンツ事業においては、全国の小売店やネット通販・自社運営ECサイトにて自社商品を販売、各種物販イベントへの出展、アニメ製作委員会や番組スポンサーへ積極的な参加等、市場のニーズに合った商品の企画・製作・販売を展開しており、業績は概ね堅調に推移いたしました。

この結果、当連結会計年度の売上高は26,457,759千円(前年同期52,109,462千円 49.2%減)、営業損益は593,139千円の利益(前年同期は185,072千円の損失)、経常損益は532,497千円の利益(前年同期は262,364千円の損失)、親会社株主に帰属する当期純損益は123,582千円の利益(前年同期は9,569千円の損失)となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

貴金属事業におきましては、売上高は23,153,114千円(前年同期49,699,455千円)、営業損益は51,669千円の利益(前年同期172,400千円の利益)となりました。

不動産事業におきましては、売上高は316,744千円(前年同期1,313,854千円)、営業損益は15,792千円の利益(前年同期593,823千円の利益)となりました。

機械事業におきましては、売上高は1,277,631千円(前年同期1,242,585千円)、営業損益は39,084千円の利益(前年同期31,131千円の損失)となりました。

投資事業におきましては、営業損益は782,684千円の利益(前年同期577,373千円の損失)となりました。

コンテンツ事業におきましては、売上高は895,093千円(前年同期409,768千円)、営業損益は66,884千円の利益(前年同期31,716千円の利益)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(流動資産)

当連結会計年度末における流動資産の残高は、前連結会計年度末より453,122千円増加し、5,122,047千円となりました。

増加の主なものは、売掛金の増加(84,189千円から224,375千円へ140,186千円の増加)、商品及び製品の増加(845,079千円から998,257千円へ153,178千円の増加)及び預け金の増加(1,209,799千円から1,482,129千円へ272,329千円の増加)であります。

減少の主なものは、販売用不動産の減少(605,118千円から502,438千円へ102,679千円の減少)であります。

(固定資産)

当連結会計年度末における固定資産の残高は、前連結会計年度末より21,682千円増加し、2,673,605千円となりました。

(流動負債)

当連結会計年度末における流動負債の残高は、前連結会計年度末より37,808千円増加し、697,921千円となりました。

増加の主なものは、買掛金の増加(19,825千円から70,380千円へ50,554千円の増加)であります。

(固定負債)

当連結会計年度末における固定負債の残高は、前連結会計年度末より42,624千円増加し、398,087千円となりました。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産の残高は、前連結会計年度末より394,371千円増加し、6,699,643千円となりました。

増加の主なものは、利益剰余金の増加(348,471千円から472,053千円へ123,582千円の増加)及び非支配株主持分の増加(△260,752千円から9,973千円へ270,725千円の増加)であります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ3,805千円増加し、1,593,714千円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は293,409千円（前連結会計年度は226,843千円の獲得）となりました。これは主に売上債権の増加額140,186千円及び預け金の増加額305,329千円等による資金の減少があったものの、税金等調整前当期純利益532,771千円及び減価償却費139,338千円等による資金の増加があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は167,959千円（前連結会計年度は27,836千円の使用）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出101,918千円等の資金の減少があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は121,643千円（前連結会計年度は27,914千円の獲得）となりました。これは主に長期借入れによる収入150,000千円及び非支配株主からの払込みによる収入257,900千円等による資金の増加があったものの、長期借入金の返済による支出145,050千円及び非支配株主への分配による支出384,478千円等による資金の減少があったことによるものであります。

当社グループのキャッシュ・フロー指標のトレンドは下記のとおりであります。

	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期
自己資本比率 (%)	87.2	86.7	89.7	85.8
時価ベースの自己資本比率 (%)	83.3	103.1	102.9	74.3

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

（注1）各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

（注2）株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、米中貿易摩擦の長期化や欧州の政局不安等の海外経済の不確実性、10月に予定される消費税増税による景気下振れ懸念等、先行き不透明な状況が続くと予想されます。

そのような状況のもと、当社グループ（当社及び連結子会社）は、市場の変化に対応し、グループとしての強化と成長を実現すべく、収益力向上を図ってまいります。

貴金属事業は、東京工場において、生産効率の高い金精製回収設備により金地金は月産800キログラムの生産体制、月産50キログラムのプラチナ生産体制をそれぞれ整えております。営業拠点は、全国9支店の営業体制を構築しており、設備に見合う原料集荷、安定操業の維持に努めてまいります。

不動産事業は、低金利の継続や住宅ローン減税を始めとした政策支援により、住宅需要は堅調に推移するとみられ、都心部では空室率は低水準で推移すると予想されます。こうした状況のもと、市場や事業を取巻く環境の変化に対応し収益力の強化を図ってまいります。

機械事業は、米中貿易摩擦による設備投資の鈍化によりマイナス成長が続くと予想されるものの、人手不足を背景とする自動化、無人化への設備投資のニーズ拡大による需要押し上げ等が見込まれる中、中古工作機械、鋸金機械等の仕入販売の強化に加え既存店舗の効率化、在庫の適正化等を行い、収益力の増大に努めてまいります。

投資事業は、東京商品取引所東京金先物に投資を行い、収益の確保を目指してまいります。

コンテンツ事業は、全国の小売店やネット通販・自社運営ECサイトにて商品を販売の他、各種物販イベントに多数出展しております。また、アニメ製作委員会や番組スポンサーへ積極的に参加し、市場のニーズに合った商品の企画・製作・販売を展開し収益力の増大を図ってまいります。

2020年3月期の連結業績につきましては、売上高は29,400,000千円、営業利益は350,000千円、経常利益は310,000千円、親会社株主に帰属する当期純利益は100,000千円を見込んでおります。

なお、上記の業績予想は本資料の発表時現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの業務は、海外での活動が限定されているため、当面は日本基準を採用することとしておりますが、今後の外国人株主比率の推移および国内他社のIFRS（国際財務報告基準）採用動向を踏まえつつ、IFRS適用の検討をすすめていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,589,909	1,593,714
売掛金	84,189	224,375
商品及び製品	845,079	998,257
仕掛品	255,760	232,112
原材料及び貯蔵品	16,227	18,815
販売用不動産	605,118	502,438
仕掛不動産	—	29,579
預け金	1,209,799	1,482,129
その他	75,841	55,622
貸倒引当金	△13,000	△15,000
流動資産合計	4,668,924	5,122,047
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,276,321	1,346,934
減価償却累計額	△657,822	△714,503
建物及び構築物 (純額)	618,499	632,430
機械装置及び運搬具	527,761	529,059
減価償却累計額	△444,706	△457,108
機械装置及び運搬具 (純額)	83,054	71,951
土地	1,691,391	1,691,391
その他	113,363	132,677
減価償却累計額	△103,462	△106,247
その他 (純額)	9,900	26,429
有形固定資産合計	2,402,846	2,422,203
無形固定資産		
コンテンツ資産	6,886	3,925
その他	6,359	9,416
無形固定資産合計	13,246	13,341
投資その他の資産		
投資有価証券	101,946	101,946
出資金	9,205	10,205
長期未収入金	487,019	487,019
敷金及び保証金	115,450	115,371
その他	9,228	10,537
貸倒引当金	△487,019	△487,019
投資その他の資産合計	235,831	238,060
固定資産合計	2,651,923	2,673,605
資産合計	7,320,848	7,795,652

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	19,825	70,380
短期借入金	300,000	300,000
関係会社短期借入金	50,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	151,320	110,790
未払金	32,347	38,168
未払法人税等	41,892	27,896
デリバティブ債務	25,900	—
その他	38,827	100,685
流動負債合計	660,112	697,921
固定負債		
長期借入金	115,620	161,100
長期末払金	5,379	—
金属鉱業等鉱害防止引当金	3,953	3,953
預り敷金保証金	16,902	16,926
繰延税金負債	15,244	13,250
資産除去債務	198,363	202,858
固定負債合計	355,462	398,087
負債合計	1,015,575	1,096,008
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,248,926	6,248,926
利益剰余金	348,471	472,053
自己株式	△31,227	△31,243
株主資本合計	6,566,170	6,689,736
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△146	△65
その他の包括利益累計額合計	△146	△65
非支配株主持分	△260,752	9,973
純資産合計	6,305,272	6,699,643
負債純資産合計	7,320,848	7,795,652

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
売上高	52,109,462	26,457,759
売上原価	50,968,560	24,515,373
売上総利益	1,140,901	1,942,385
販売費及び一般管理費	1,325,974	1,349,245
営業利益又は営業損失(△)	△185,072	593,139
営業外収益		
受取利息及び配当金	30	126
国庫補助金収入	10,057	9,725
保険金収入	1,074	12,248
その他	3,069	1,812
営業外収益合計	14,231	23,911
営業外費用		
支払利息	7,439	7,966
休山管理費	76,665	67,830
その他	7,418	8,756
営業外費用合計	91,522	84,553
経常利益又は経常損失(△)	△262,364	532,497
特別利益		
固定資産売却益	565	273
特別利益合計	565	273
特別損失		
固定資産除却損	2,781	0
特別損失合計	2,781	0
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前 当期純損失(△)	△264,580	532,771
法人税、住民税及び事業税	18,053	13,880
法人税等調整額	△2,353	△1,994
法人税等合計	15,699	11,886
当期純利益又は当期純損失(△)	△280,280	520,885
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に 帰属する当期純損失(△)	△270,710	397,302
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に 帰属する当期純損失(△)	△9,569	123,582

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
当期純利益又は当期純損失 (△)	△280,280	520,885
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△146	80
その他の包括利益合計	△146	80
包括利益	△280,426	520,965
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△9,715	123,662
非支配株主に係る包括利益	△270,710	397,302

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				その他の包括利益 累計額		非支配株主 持分	純資産合計
	資本金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	為替換算調整 勘定	その他の 包括利益累 計額合計		
当期首残高	6,248,926	358,040	△31,182	6,575,785	—	—	9,958	6,585,743
当期変動額								
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)		△9,569		△9,569				△9,569
自己株式の取得			△45	△45				△45
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)				—	△146	△146	△270,710	△270,856
当期変動額合計	—	△9,569	△45	△9,614	△146	△146	△270,710	△280,471
当期末残高	6,248,926	348,471	△31,227	6,566,170	△146	△146	△260,752	6,305,272

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				その他の包括利益 累計額		非支配株主 持分	純資産合計
	資本金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	為替換算調整 勘定	その他の 包括利益累 計額合計		
当期首残高	6,248,926	348,471	△31,227	6,566,170	△146	△146	△260,752	6,305,272
当期変動額								
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)		123,582		123,582				123,582
自己株式の取得			△16	△16				△16
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)				—	80	80	270,725	270,805
当期変動額合計	—	123,582	△16	123,566	80	80	270,725	394,371
当期末残高	6,248,926	472,053	△31,243	6,689,736	△65	△65	9,973	6,699,643

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△264,580	532,771
減価償却費	100,280	139,338
のれん償却額	343	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	13,000	2,000
受取利息及び受取配当金	△30	△126
支払利息	7,439	7,966
補助金収入	△10,057	△9,725
保険金収入	△1,074	△12,248
有形固定資産売却損益(△は益)	△565	△273
有形固定資産除却損	2,781	0
売上債権の増減額(△は増加)	23,548	△140,186
たな卸資産の増減額(△は増加)	△99,930	△52,715
仕入債務の増減額(△は減少)	△18,402	50,554
未払金の増減額(△は減少)	5,662	8,035
デリバティブ債務の増減額(△は減少)	25,900	△25,900
預け金の増減額(△は増加)	516,453	△305,329
差入保証金の増減額(△は増加)	—	33,000
その他	△60,856	39,948
小計	239,911	267,110
利息及び配当金の受取額	30	126
利息の支払額	△7,097	△7,781
補助金の受取額	10,057	9,725
保険金の受取額	1,074	42,248
法人税等の支払額	△17,132	△18,019
営業活動によるキャッシュ・フロー	226,843	293,409
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△20,022	△101,918
有形固定資産の売却による収入	565	1,300
無形固定資産の取得による支出	△17,341	△65,581
敷金保証金の増加による支出	△725	△1,285
敷金保証金の減少による収入	9,692	538
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△0	—
その他	△6	△1,012
投資活動によるキャッシュ・フロー	△27,836	△167,959

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	150,000	—
長期借入れによる収入	6,000	150,000
長期借入金の返済による支出	△128,040	△145,050
非支配株主からの払込みによる収入	—	257,900
自己株式の取得による支出	△45	△16
非支配株主への分配による支出	—	△384,478
財務活動によるキャッシュ・フロー	27,914	△121,643
現金及び現金同等物に係る換算差額	△63	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	226,858	3,805
現金及び現金同等物の期首残高	1,362,928	1,589,909
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	122	—
現金及び現金同等物の期末残高	1,589,909	1,593,714

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、製品の種類・サービス別のセグメントから構成されており、「貴金属事業」、「不動産事業」、「機械事業」、「投資事業」、「コンテンツ事業」の5つを報告セグメントとしております。

「貴金属事業」は、貴金属・美術品・ダイヤモンド・宝飾品の販売、金・銀・白金・パラジウム地金の生産販売、含金銀非鉄金属の仕入販売等を行っております。「不動産事業」は、分譲・賃貸マンションの販売、不動産の売買、仲介、賃貸及び保守管理並びに企画開発等を行っております。「機械事業」は、中古工作機械・鈹金機械等の仕入販売を行っております。「投資事業」は、有価証券の保有、売買、運用その他の投資を行っております。「コンテンツ事業」は、アニメ、コミック、ゲーム等のキャラクター関連商品の企画・製作・販売を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。報告セグメントの損益は、営業損益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント					
	貴金属事業	不動産事業	機械事業	投資事業	コンテンツ事業	計
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	49,699,455	1,297,861	1,242,585	△548,996	409,768	52,100,673
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	15,993	—	—	—	15,993
計	49,699,455	1,313,854	1,242,585	△548,996	409,768	52,116,667
セグメント利益又はセグメント損失(△)	172,400	593,823	△31,131	△577,373	31,716	189,434
セグメント資産	1,692,798	2,082,909	1,440,711	1,227,672	362,969	6,807,060
その他の項目						
減価償却費	9,797	28,282	43,971	—	10,360	92,411
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	10,985	—	—	—	18,470	29,456

	その他	合計
売上高		
(1) 外部顧客への売上高	8,788	52,109,462
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	15,993
計	8,788	52,125,455
セグメント利益又はセグメント損失(△)	3,077	192,511
セグメント資産	42,684	6,849,744
その他の項目		
減価償却費	5,710	98,122
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	—	29,456

当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント					
	貴金属事業	不動産事業	機械事業	投資事業	コンテンツ事業	計
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	23,153,114	301,392	1,277,631	813,304	895,093	26,440,534
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	15,352	—	—	—	15,352
計	23,153,114	316,744	1,277,631	813,304	895,093	26,455,887
セグメント利益又はセグメント損失(△)	51,669	15,792	39,084	782,684	66,884	956,114
セグメント資産	1,775,008	2,038,665	1,421,520	1,482,198	532,873	7,250,265
その他の項目						
減価償却費	9,787	27,538	26,648	—	64,584	128,558
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	1,550	—	—	—	62,632	64,182

	その他	合計
売上高		
(1) 外部顧客への売上高	17,224	26,457,759
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	15,352
計	17,224	26,473,111
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△10,303	945,810
セグメント資産	151,206	7,401,471
その他の項目		
減価償却費	8,901	137,459
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	94,637	158,819

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位：千円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	52,116,667	26,455,887
「その他」の区分の売上高※	8,788	17,224
セグメント間取引消去	△15,993	△15,352
連結財務諸表の売上高	52,109,462	26,457,759

※「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電による売電収入、不動産賃貸収入及びインターネットカフェ事業を含んでおります。

(単位：千円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	189,434	956,114
「その他」の区分の利益	3,077	△10,303
全社費用※	△377,584	△352,671
連結財務諸表の 営業利益又は損失(△)	△185,072	593,139

※全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

※セグメント利益又は損失は、連結財務諸表の営業損益と調整を行っております。

(単位：千円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	6,807,060	7,250,265
「その他」の区分の資産	42,684	151,206
全社資産※	471,103	394,180
連結財務諸表の資産合計	7,320,848	7,795,652

※全社資産は、各報告セグメントに配分していない全社資産に係るものであります。

(単位：千円)

その他の項目	報告セグメント計		その他		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度
減価償却費	92,411	128,558	5,710	8,901	2,158	1,879	100,280	139,338
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	29,456	64,182	—	94,637	953	902	30,409	159,721

※減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社資産に係るものであります。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
1株当たり純資産額	22.67円	23.10円
1株当たり当期純利益金額又は1株当たり 当期純損失金額(△)	△0.03円	0.43円

(注) 1. 当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。なお、前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、1株当たり当期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額又は1株当たり当期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△9,569	123,582
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△9,569	123,582
期中平均株式数(千株)	289,650	289,649

(重要な後発事象)

該当事項はありません。